

昇降機業界で活躍する女性の紹介

Ele-Komachi  エレ小町 No.16

1. プロフィール

名 前：濱口 萌子  
 な ま え：はまぐち もえこ  
 会 社 名：フジテック株式会社  
 所 属 部 署：商品開発本部  
                     研究開発センター 技術研究部  
 職 種：研究開発  
 入 社 年 度：2016年度



2. 担当業務について

私が所属している技術研究部は、エレベーターおよびエスカレーターの新技术を開発すべく研究業務を担っています。

私はその中でも、人間工学を取り入れたインタフェース関連技術の研究を担当しており、ユニバーサルデザインを含めた人間工学に包括されるさまざまな観点に基づいて、人間中心の製品価値向上に努めています。エレベーターやエスカレーター利用者を対象とした行動観察やヒアリング調査及び生理、心理反応評価等を実施することで、科学的な観点から利用者が使いやすい製品を考えています。しかし、時間が経てば人の感性も変化します。そのため、従来技術を見直し続けることで、常に快適に利用してもらえぬ製品を提供していくことが重要であるとと考えています。

また、適宜、市場調査や商品調査等を実施し、人間工学の角度から現行商品の問題点を把握する業務があります。抽出した問題点から、「より安全」、「より快適」に利用できる新しいインタフェースを提案し、その有用性の実証に関する取り組みもしています。

このように、担当業務が多岐に渡るが故に、経験を重ね、それを活かすことが大切であると考えています。日々勉強という気持ちを持って、担当業務に邁進し、良い製品づくりに貢献できる研究成果を残していきたいと思っています。

3. 読者へのメッセージ

これまでエレ小町を執筆された方々と同様に、私の所属している部門でも男性に比べると女性社員は少ないのですが、男性社員の多い環境で業務を行うことに不安を感じたことはありません。私のまわりの女性社員の方々は、上司や同僚からの信頼を得て、活躍されている方ばかりだからだと思います。また、部門の先輩方が、誰もが働きやすい職場環境をつくってくださっていることも理由のひとつだと思います。

これまでは、先輩方の姿を見て、目の前にある自分の業務に邁進する毎日でした。しかし、私も入社3年目となり、自身も後輩を指導する立場になりました。これからは、自身の業務に邁進するだけでなく、誰もが働きやすい職場環境づくりを心掛けることも大切にしていきたいと思っています。

4. 上長のコメント

明朗快活で、コミュニケーションが上手です。どんなに難しい研究業務であっても自前の知識およびコミュニケーション能力をフルに発揮し、素早くアプローチ方法を的確に考案し行動していく姿が先輩たちおよび上司を驚かせます。今後、当社における人間工学のエキスパートとしての活躍を大いに期待しています。